

ハイマダラノメイガに対する各種殺虫剤の殺虫力と
ブロッコリーは種床における防除効果

佐々木善隆

ハイマダラノメイガに対し効果の高い殺虫剤を選択しようとして、室内試験で卵、幼虫、成虫に対する殺虫力を、ブロッコリーは種床で防除試験を実施した。室内試験の供試虫は農試内のハクサイほ場から採集したものを増殖して用いた。

虫体散布法による 5 令幼虫に対する殺虫力は isoxathion 乳剤, dimethylvinphos 水和剤, acephate 水和剤で著しく高く、次いで prothiofos 乳剤, EPN 乳剤の殺虫力が高かった。しかし chlorfenvinphos 乳剤, phenthoate 乳剤, pyrimiphosmethyl 乳剤の殺虫力は低かった。

成虫に対して prothiofos 乳剤, phenthoate 乳剤, isoxathion 乳剤や dimethylvinphos 水和剤の殺虫力が高かった。

卵に対する効果は prothiofos 乳剤, isoxathion 乳剤, dialifos 乳剤や EPN 乳剤で高かったが、逆に acephate 水和剤, dichlorvos 乳剤と chlorfenvinphos 乳剤の効果は低かった。

dichlorvos 乳剤と phenthoate 乳剤の LC_{50} は生育とともに増大し、5 令幼虫の LC_{50} は 2 令幼虫のそれの、dichlorvos で 5.7 倍, phenthoate では 32 倍であった。

ブロッコリーは種床での防除効果は isoxathion 乳剤, dimethylvinphos 水和剤, EPN 乳剤や prothiofos 乳剤で高かった。しかし, diclorvos 乳剤, cartap 粒剤や acephate 粒剤の効果は低かった。